

た やちようほりのうち
田谷町堀ノ内遺跡

横浜市栄区 No.112 遺跡



1. 旧石器時代の調査状況(北西から)



2. 弥生時代の遺構(南西から)



3. 弥生時代Y1号竪穴住居跡(西から)



4. 中世の遺構(東から)

● 主な調査成果

今回の調査で旧石器時代から近世にいたるまでの遺物と弥生時代後期、奈良・平安時代、中世、近世の遺構が発見されました。旧石器時代ではナイフ形石器が発見されました。縄文時代では早・前・中・後期の土器と石鏃・打製石斧等の石器が出土しました。弥生時代では後期の竪穴住居が発見され、当時の集落の一端が明らかにされました。奈良・平安時代では柱穴等がまとまって検出され、何らかの構造物があったことが想定されます。中・近世では段切りが検出され、当時の人々が斜面の地形を造成しているあり方がうかがえました。

- 調査期間 2019年4月1日～2019年8月15日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 横浜市栄区田谷町
- 遺跡位置 JR大船駅の北西約2.3kmの多摩丘陵上

